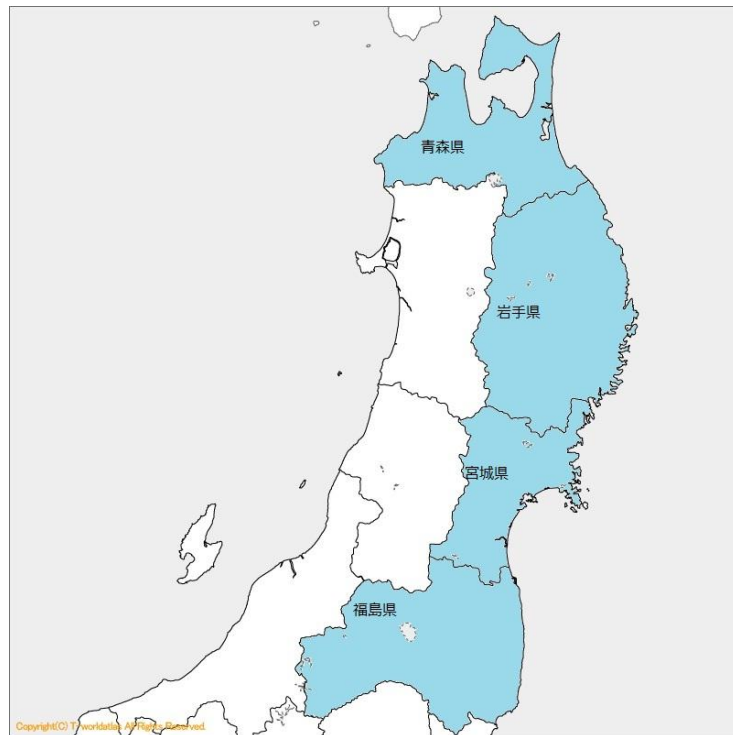


図書館常設展示 第9回

よみがえる東北の水産業

震災から二年の時を経て



場所: 東京海洋大学附属図書館(品川キャンパス)

期間: 平成 25 年 3 月 11 日(月)～6 月 28 日(金)

主催: 東京海洋大学附属図書館

この展示目録は東京海洋大学附属図書館の蔵書からこのたびの展示のために選択した図書等を原則として出版年順に並べ、書名、巻次、著者名、出版社名、出版年、請求記号を記した。請求記号は東京海洋大学附属図書館蔵書の背ラベルに記載された番号。

2013 年 3 月 11 日現在

はじめに

東北太平洋側の海域は、親潮と黒潮が交差して豊かな漁場を形成しており、昔から人々は豊かな海の幸を生活の糧にして暮らしてきました。しかし、これらの地はまた津波が頻繁に襲来するところでもありました。そのたびに多くの尊い人命・ものを失いながらも奇跡のように復興・再建を果たしてきた歴史は、この地に生きる人々の底力を感じさせます。

このテーマでの展示は、昨年に引き続き、2回目の開催となります。今回は、東京海洋大学附属図書館の豊富な水産関係資料の中から、東北太平洋側の地域に関する本に加えて、東日本大震災に関する資料をご紹介します。震災の記憶を風化させないため、東北の復興を願いつつ、どうぞご覧ください。

1 東北地方

- 1 東北六縣漁業税漁船税調査書 [出版者不明] [1928] 004/H11/E173
- 2 三陸地方津浪災害豫防調査報告書 農林省水産局 [編] 農林省水産局 1934 169/N61/1
昭和8年の三陸大津波について当時の農林省水産局が、水産関係の被害を中心として調査し、まとめた詳細な報告書。調査は災害予防対策を確立することを目的としており、全55町村各地区の被害状況、津波襲来の経路や規模などに応じてそれぞれ防波堤建設、高台への住居移転などの対策と予算が見取図と共に示されている。
- 3 三陸方面及北海道東南岸鮭鱒沖取漁業調査報告書 農林省水産局 1934 664/N96
- 4 農林水産統計から見た浅海生物の漁獲・収穫量 (東北海域に於ける浅海漁業 1) 東北区水産研究所増殖部編 東北区水産研究所増殖部 1965 664.4/To25
- 5 海の壁：三陸沿岸大津波 (中公新書 224) 吉村昭著 中央公論社 1970 452.5/Y91
- 6 三陸沿岸漁業資源の培養および流通加工基地の形成に関する基本構想 岩手県 [編] 岩手県 1971 661.4/I97
- 7 東北海区海洋研究文献目録(昭和20年～46年) 東北海区海洋調査技術連絡会 1972 660.3/To25/R
- 8 海鳴りの記：三陸漁業のあゆみ 小松宗夫著 宮城県北部鯉鮒漁業協同組合 1974 660.2/Ko61
気仙沼市役所に勤務する筆者が三陸海岸の人々の“海との苦闘史”を記録しようと約10年をかけて膨大な記録を集め、著した漁業史。
- 9 漁業・諸職(東北の生業 2) 三浦貞栄治[ほか]著 明玄書房 1981 660/N77
- 10 哀史 三陸大津波 山下文男 青磁社 1982 452.5/Y44
明治29年、昭和8年の三陸大津波の被害の様子を記録や証言を中心に伝える。
- 11 東北海域・北海道オホーツク海域の魚類 日本水産資源保護協会 1983 487.5/A43
- 12 写真記録近代日本津波誌 山下文男 青磁社 1984 452.5/Y44
- 13 三陸沿岸の漁村と漁業習俗 (東北歴史資料館資料集 10) 上巻 東北歴史資料館編 東北歴史資料館 1984 661.8/To25
- 14 三陸沿岸の漁村と漁業習俗 (東北歴史資料館資料集 11) 下巻 東北歴史資料館編 東北歴史資料館

※ 番号は1階ロビー、番号は2階閲覧室に展示しました。

1985 661.8/To25

宮城・岩手・青森の3県の13漁村で手漕ぎ船時代に生きた地先漁業の体験者の話をもとに当時の漁業の習俗を記録することを目的とした調査の報告書。各地の漁業習俗が詳細に記録されている。

- 15 **三陸さかな歳時記** 蓮井清文；岩淵欣治版画；三陸河北新報社編 河北新報社 1989 487.5/H89

石巻の地域紙「石巻かほく」の連載記事を単行本化したもの。魚ごとに迫力ある版画と魚にまつわるエピソードや話題が紹介され楽しく読める。著者は水産講習所の卒業生。

- 16 **三陸・常磐沿岸のツノナシオキアミとその漁業** 小達和子 日本水産資源保護協会 1991 664.7/017

- 17 **東北水産要覧 平成3年度版** 北海水産新聞社 1991 660/To25

- 18 **三陸海岸，相模湾沿岸，駿河湾沿岸における組織の津波警報伝達・避難対策** 船津衛，三上俊治，野田隆 [出版者不明] 1993 452.5/F89

- 19 **1994年三陸はるか沖地震災害調査報告書** 三陸はるか沖地震災害調査委員会編 三陸はるか沖地震災害調査委員会 1995 453/S66

- 20 **東北海区の人工魚礁と魚類の生態写真集** 東北区水産研究所八戸支所 1995 664.1/To25

- 21 **マグニチュード7.5の衝撃：三陸はるか沖地震の記録**：1994.12.28 21:19 青森県総務部消防防災課編 青森県総務部消防防災課 1996 453.2/A54

- 22 **東北さかな紀行** 野村祐三 無明舎出版 2002 664.6/N95

東北6県の漁港と漁港ごとの地魚・浜料理をカラー写真で紹介。豊かな東北の海の幸を味わいたくなる。

- 23 **三陸沿岸の漁村と漁業習俗** (日本の漁村・漁撈習俗調査報告書集成 2 北海道東北地方の漁村・漁撈習俗 2) 上巻，下巻 東北歴史資料館編 東洋書林 2004 661/N77/2

- 24 **三陸の海と生物：フィールドサイエンスの新しい展開** 宮崎信之編 サイエンティスト社 2005 662.6/Mi88

- 25 **津波の恐怖：三陸津波伝承録** 山下文男 東北大学出版会 2005 452.5/Y44

- 26 **資源管理型沖合漁業推進総合(三陸沖きちじ等：三陸沖合海域)調査報告書** 平成16年度 水産総合研究センター開発調査部 2006 661.7/Sh29

- 27 **資源管理型沖合漁業推進総合(三陸沖きちじ等：三陸沖合海域)調査報告書** 平成17年度 水産総合研究センター開発調査部 2007 661.7/Sh29

- 28 **東北フィールド魚類図鑑**：沿岸魚から深海魚まで 北川大二 [ほか] 著 東海大学出版会 2008 487.5/Ki63/R

- 29 **漁場が消える：三陸・マグロ危機** [河北新報社編集局編] 河北新報出版センター 2010 660.2/Ka19

- 30 **哀史 三陸大津波**：歴史の教訓に学ぶ 山下文男 河出書房新社 2011 452.5/Y44

2 青森県

- 31 **青森縣漁具誌** 上巻，下巻 青森縣内務部 1891-1892 192/A61/1

明治22(1889)年、青森県下の西津軽郡・東津軽郡・北津軽郡・下北郡・上北郡・三戸郡で行われた漁具・漁法を実地に調査し図解した資料。網漁・釣漁・採貝採藻を模写し、また、古老等に聞き取り調査を行い、74種を収録した。第三回内国勸業博覧会(明治23(1890)年)に浄書本が出品されたと見られる。

※ 番号は1階ロビー、番号は2階閲覧室に展示しました。

なお、本書は極めて珍しい図書で、国立国会図書館、岩瀬文庫、東京海洋大学に上下巻の完本が所蔵されている。

- 32 青森縣漁具誌 山田直次郎 [写] 1894 665.5/A54
- 33 青森縣漁具誌 青森縣水産試験場 1915 004/H11/A615
- 34 漁村經濟調査 昭和9年3月 青森縣水産會 1934 004/H11/E36
- 35 青森県海の生物誌 2版 平井越郎 東奥日報社 1965 468.2/H64
- 36 青森県の漁具（青森県民俗資料図録 第2集） 青森県立郷土館 1975 665.5/A54
青森県内の漁具について昭和50年頃調査されたもので太平洋は八戸市大久喜が調査対象となっている。
だんだん姿を消しつつある伝統的な漁具の写真が興味深い。
- 37 八戸市における沖合底曳網漁業経営（中小漁業構造改善事業等経営指導報告書 昭和50年度）[平沢豊著] 水産庁 1976 P661/50A
- 38 青森県太平洋側沖合の底魚類の資源動向について：昭和27年～51年 東北区水産研究所八戸支所 1980 664.4/So32
- 39 原色青森県海藻図鑑 七尾善磨 1980 474/N48/R
- 40 八戸地方の漁労用具（文化財シリーズ 第21号） 福田進 八戸市教育委員会 1980 665.5/F74
- 41 北部太平洋海区における大中型まき網漁業の実態調査：八戸、いわき地区の漁労および水産加工についての報告 大海原宏[著]，小野征一郎[著] 農林中央金庫水産部 1980 664.4/091
- 42 青森県産魚類目録：青森県水産試験場報告 塩垣優 青森県水産試験場 1982 487.5/Sh72/R
- 43 八戸魚市場五十年史 八戸魚市場 1982 675/H11
- 44 青森県大畑地区における大型いかつり漁業経営（中小漁業経営調査報告書 昭和57年度） 大日本水産会 1983 P661/50/57
- 45 青森県水産史 青森県 1989 660.2/A54
江戸時代から昭和までの青森県水産業の歴史、経済、行政、法制などについて詳細に記載した書物。
青森県の漁業史を知る上で欠かせない書。
- 46 海から拓く：八戸港湾運送昭和史 八戸港湾運送株式会社編 八戸港湾運送株式会社 1989 683.9/H11
- 47 青森県漁具誌 改訂版 青森県水産試験場 1991 665.5/A54
- 48 百年の歩み：青森県水産試験場 青森県水産試験場編 青森県水産試験場 200 660.7/A54
- 49 八戸沿岸の漁撈習俗（日本の漁村・漁撈習俗調査報告書集成 1 北海道東北地方の漁村・漁撈習俗 1） 八戸市博物館編 東洋書林 2004 661/N77/1
八戸沿岸の有形・無形の漁撈民俗資料を調査し記録・保存することを目的として、百石町・八戸市・階上町の古くから漁業の営まれていた地区から10ヶ所を選び調査した。古老の方々が体験した大正後期から昭和初期までの手漕ぎ舟を使用していた頃の生活に焦点をあわせた
- 50 八戸の漁業（八戸の歴史双書）近代編 山根勢五著 八戸市立図書館市史編纂室編 八戸市 2006 662.1/Y36
- 51 八戸魚物語 石戸芳男編 デーリー東北新聞社 2008 487.5/I81

※ 番号は1階ロビー、番号は2階閲覧室に展示しました。

- 52 八戸浦“クジラ事件”と漁民**：〈事件百周年〉駒井庄三郎家所蔵「裁判記録」より 岩織政美著；田名部清一サポート 「八戸浦“くじら事件”と漁民」刊行委員会 2011 661.9/I95
- 「くじら事件」とは明治44年、八戸浦の漁民約1,100人が鯨村にあった東洋捕鯨鯨事業場を襲い、放火・破壊した事件である。本書は失われていた記録を駒井家に唯一残る裁判記録から解き明かし、八戸漁業史に残る事件の実像に迫るものである。

3 岩手県

- 53 乍恐奉願上事** [柿崎御手漁場鮪建網御用一件留並願書] 天保5[1834] 004/H11/J14 (写本)
- 54 漁場御買入為御登御用雑書** [岩手県下閉伊郡] 天保8[1837]酉八月 004/H11/J327 (写本)
- 55 [岩手県下御巡回拝命]** 明治19[1886] 004/H11/J37 (原文書)
- 56 捕介採藻ニ関スル訴願綴** [岩手県上閉伊郡大槌町] [明治36[1903]] 004/H11/J235 (原文書)
- 57 宮古浦大漁ぶしの由来** 下閉伊郡水産會 [1900年代] 004/H11/A788
- 58 岩手縣宮古町三ヶ村住民共同漁業組合各漁場沿革調査書** 岩手縣立水産学校 1927 004/H11/K41
- 59 漁業基本調査書**：乃昭和三年至昭和四年調 下閉伊郡水産會編 下閉伊郡水産會 [1930] 173/I86/2
- 60 岩手縣氣仙郡大船渡村水産業是**：漁獲物の調査により水産業是樹立の一様式 小安正三 岩手縣氣仙郡大船渡村 1930 660.2/Ko97
- 61 保證責任岩手縣水産販賣利用組合事業計畫書** [出版者不明] [1932] 162/I85/1
- 62 岩手縣水産業是** 岩手縣 1932 660.2/I97
- 63 三陸津浪襲來の動向** 林喬 岩手水産試験場 1933 004/H11/H14
- 64 保證責任宮古漁業協同組合同規約** 宮古漁業協同組合 [1936] 004/H11/F7
- 65 岩手縣水産要覽** 昭和12年 岩手縣水産會 [1937] 004/H11/A724
- 66 宮古港** 宮古町役場編 宮古町役場 1937 004/H11/A278
- 宮古港港湾修築竣成を記念して港湾修築の経過と町勢の概要を記した図書。巻頭に昭和12年当時の宮古港全景写真があり、75年前の宮古港が偲ばれる。
- 67 下閉伊郡水産要覽** 下閉伊郡水産會 1937 004/H11/A863
- 68 昭和十三年度事業計畫書** 宮古漁業協同組合 1938 004/H11/K199
- 69 第三十六年度事業報告書** 宮古漁業協同組合 [1938] 004/H11/K198
- 70 氣仙郡海區、下閉伊郡海區** [出版者不明] [1951] 004/H11/H89
- 71 岩手縣産鮑調査報告 第1号、第2号** 岩手縣水産試験場 1953 484.4/I97
- 72 岩手縣漁業史料 第2輯** (明治8-10年)岩手県水産部 [編] 岩手県水産部漁政課 1954 660.2/I97
- 73 岩手漁協八十年の歩み** 釜沢勲 いさな書房 1959 661.6/Ka31
- 明治時代の漁協の成立から大正期の近代化とそれに伴う経営体の変化、漁業紛争、漁業会の活動と解散から新しい漁協の成立過程が記述されている。
- 74 岩手県水産試験場50年史** 岩手県水産試験場 1960 660.7/I97
- 75 さけますはえなわ漁業経営調査報告書**：岩手県宮古市および山田町 清光照夫 [大日本水産會] 1970 P661/50

※ **番号**は1階ロビー、**番号**は2階閲覧室に展示しました。

- 76 岩手県沿岸の漁具漁法 岩手県水産試験場 1972 665.5/I97
- 77 岩手県沖合魚礁精密調査報告書 岩手県水産試験場 1973 664.4/I97
- 78 原色海藻図譜：岩手県越喜来半島周辺海域産の海藻 高松正彦 北里大学水産学部 1974 474/Ta42
- 79 岩手の深海魚 岩手県林業水産部 1977 487.5/I97
- 80 陸中国宮古湾漁場史 [正] 川原田義男編著 宮古漁業協同組合 1977 660.2/Ka92
- 81 陸中国宮古湾漁場史 続 川原田義男編著 宮古漁業協同組合 1980 660.2/Ka92
- [正]編は「岩手縣宮古町三ヶ村住民共同漁業組合各漁場沿革調査書」の翻刻、続編は岩手縣宮古町三ヶ村住民共同漁業組合関係の書類の翻刻である。[正]編は住民共同漁業組合が漁業免許を受けた漁場を中心として建網之部、地引網之部、鮭留之部と分け、創業時、免許法、徴税法を記録し、組合経歴、漁業営業経過、漁夫使設及給料、収益配当等、当時の実態を記録している。続編は住民共同漁業組合の規約、漁場免許の記録、漁業経営の報告等を詳細に記録している。
- 82 宮古沿岸地区における漁業の動向 東北農政局岩手統計情報事務所宮古出張所 1978 660/Mi76
- 83 岩手の魚類 1 ヒラメ・カレイ類 岩手県水産試験場 1981 487.5/I97
- 84 大槌町漁業史 大槌町漁業史編纂委員会編 大槌町漁業協同組合 1983 660.2/O99
- 縄文時代から昭和に至るまでの大槌町の漁業史について詳述した書物。津波についても明治 29 年、昭和 8 年の三陸大津波、昭和 35 年のチリ津波について、当時の様子、被害状況等の記載があり、いくたびかの津波で被害を受けながらも復興してきた歴史がわかる。
- 85 岩手の魚類 2 ソイ・メヌケ類 岩手県水産試験場 1983 487.5/I97
- 86 岩手県漁業史 岩手県編 岩手県 1984 660.2/I97
- 縄文時代から昭和に至るまでの岩手県の漁業について記されている。水産団体、水産に関係の深い人物の記述、年表などがあり、県内の漁業史を知るうえで参考になる。
- 87 岩手の魚類 3 サケ・マス類 岩手県水産試験場 1986 487.5/I97
- 88 岩手県種市町の塩（町史編纂資料 2） 1 斎藤潔編 種市町教育委員会 1990 669/S25
- 89 岩手県水産試験場創立 80 年のあゆみ 岩手県水産試験場 1991 660.7/I97
- 90 岩手の魚百科（カラー百科シリーズ）井田齊 [ほか] 著；岩手日報社出版部編 岩手日報社 1992 487.5/I18
- 91 岩手県におけるアワビの栽培漁業 全国豊かな海づくり推進協会 2007 663/Sa17
- 92 岩手県水産試験場岩手県水産技術センターの 100 年 岩手県水産技術センター [2010] 660.7/I97
- 明治 41 年からの岩手県水産試験場の歴史を記載。伝書鳩による漁海況伝達試験、手書きによる試験場報告などが当時を偲ばせる。昭和 8 年の大津波では「大槌町の孵化場設備一切を流失した」とある。

4 宮城県

- 93 宮城縣漁具圖解 宮城縣農商課編撰 山口徳之助 1888 004/H11/A786
- 宮城県立図書館所蔵の明治 16 年開催の第 1 回水産博覧会へ出品された「管内漁具及水産画帖并説明書」（肉筆彩色画）を原本として明治 21 年に刊行された書籍。所蔵館が少ない貴重な資料である。
- 94 宮城縣水産一覽表 宮城縣第一部農商課編 山口徳之助 1888 108/M41/1

※ 番号は 1 階ロビー、番号は 2 階閲覧室に展示しました。

- 95 宮城縣漁具圖解 [筆写資料] 山田直次郎 [写] 1894 665.5/Mi73
- 96 宮城縣漁業基本調査報告書 第1巻 漁業一斑 宮城縣水産試験場 1909 660.2/Mi73
- 97 宮城縣漁業基本調査報告書 第2巻 鹹水及淡鹹水漁具漁法 宮城縣水産試験場 1910 660.2/Mi73
- 98 宮城縣漁業基本調査報告書 第3巻 漁業組織及漁期漁場漁礁 宮城縣水産試験場 1911 660.2/Mi73
- 99 宮城縣漁業基本調査報告書 第4巻 製造設備生産及製法製氷魚氷装及魚市場 宮城縣水産試験場
1914 173/M41/1
- 100 宮城縣漁業基本調査報告書 第5巻 養殖之部 宮城縣水産試験場 1916 004/H11/E95
「宮城縣漁業基本調査報告書」は全6巻であり、本学では残念ながら第6巻を所蔵していないが、いずれも、明治後半から大正初期の宮城県漁業の詳細を知る基本的図書であり貴重な資料である。
- 101 宮城縣漁場圖 宮城縣水産試験場 1911 004/H11/A787
明治44年に宮城県水産試験場から発行された県内漁場図。当時の漁場の分布が色別に示されている。
- 102 宮城縣海苔牡蠣養殖調査報告 [製作者不明] [1920] 122/M01/1
- 103 漁業慣行調 [其ノ1], 其ノ2 [宮城縣水産課編] [宮城縣水産課] 1934 004/H11/J87
- 104 開港した鹽竈 板宮文蔵編 東光社 1934 683/I88
- 105 松岩村とその漁業組合の再出發 : 宮城縣本吉郡(村の調査報告) 下村千秋[著] ; 大政翼賛會文化
部編 翼賛圖書刊行會 1942 661.8/Sh53
- 106 宮城縣漁業権調査報告 宮城縣水産業會 1948 004/H11/E92
昭和22年4月1日現在の漁業権単位の調査報告。
- 107 宮城縣本吉郡氣仙沼港を根據とするカツオ釣漁業に於ける労働關係実態報告 水産廳 1951
664.4/Su51
- 108 石巻港および渡波港技術調査報告 濱田徳一[ほか]著 運輸技術研究所港灣物象部 1951 518/U77
- 109 陸前唐桑の史料(常民文化研究 第72 日本漁村史料 第2集) 宇野脩平編著 日本常民文化研究所
1955 661.8/U77/2
- 110 秋刀魚魚價対策調査報告書 : 氣仙沼水産加工業実態調査 全國漁業協同組合連合會 1956
661.6/Z3
- 111 氣仙沼灣カキ養殖場の生態学的研究 氣仙沼灣開發研究所[編] ; 今井丈夫[ほか]著 氣仙沼市役所
1957 663.7/I43
- 112 宮城の水産業(調査課資料 第187号 県勢分析シリーズ no.1) 宮城県調査課 1960 660.2/Mi73
- 113 宮城県水産高等学校五十周年記念誌 丹野進一郎編 宮城県水産高等学校 1963 660.2/Ta88
- 114 宮城県沿岸海中公園調査報告 [1967], 1969 東北観光開發センター [1967]-1969 468.2/Mi73
- 115 まき網漁業経営調査報告書 : 宮城県石巻市および茨城県大津港(中小漁業経営調査報告書) 山本辰
義[著] [大日本水産會] 1968 P661/50
- 116 宮城県水産試験場70周年記念誌 宮城県水産試験場 1969 660.7/Mi73
- 117 陸前高田市まき網漁業の実態(中小漁業経営調査報告書 [昭和43年度]) 山本辰義 [大日本水産
會] 1969 P661/50
- 118 石巻市におけるまき網漁業経営(中小漁業構造改善事業等経営指導報告書 昭和50年度) [高橋富

※ 番号は1階ロビー、番号は2階閲覧室に展示しました。

- 士夫著] 水産庁 1976 P661/50A
- 119 広田漁業史** 広田漁業史編集委員会編 広田町漁業協同組合 1976 660.2/H74
陸前高田市広田町の漁業の発達と広田漁業協同組合の事績及び之に関連する社会の動きを広く取り上げた漁業史である。時代的には江戸時代以降が記述されている。昭和8年の三陸大津波の災害復旧事業も記載されている。
- 120 ‘78 宮城県沖地震災害の概況**：応急措置と復興対策 宮城県 [編] 宮城県 1978 453/Mi73
- 121 組合三十年史** 宮城県北部延縄漁業協同組合『組合三十年史』編纂委員会編 宮城県北部延縄漁業協同組合 1979 661.6/Ku38
昭和24年6月の組合設立から始まり、30年間にわたる組合の記録を集録した図書。戦後の漁村の新生を目指した初期の胎動や困難な経営と変遷の数々が記録されている。
- 122 1978 年宮城県沖地震による被害の総合的調査研究** 佐武正雄研究代表 [佐武正雄] 1979 453/S83
- 123 ‘78 宮城県沖地震災害の教訓**：実態と課題 宮城県編 宮城県 1980 453/N48
- 124 1978 年宮城県沖地震に関する資料目録** 東北大学工学部自然災害科学資料室 1981 453/Se69
- 125 原色魚類図鑑**：気仙沼市魚市場に水揚げされる魚類 佐藤隆平, 長谷部明石共著 気仙沼市[1982] 487.5/S85/R
- 126 気仙沼漁業協同組合史** 気仙沼漁業協同組合 1985 661.6/Ke61
組合前史として、明治時代のノリ養殖、竹輪カマボコ、カツオ節等の生産推移、その前身である気仙沼水産倉庫、気仙沼漁業会の変遷推移とその時代時代の漁業、水産加工についても詳述されている。気仙沼漁業協同組合の歴史についても、経済活動と政治の動きと連動した様を分析しながら記述している。
- 127 宮城中部海域総合開発事業調査報告書** 昭和58年～60年度 宮城県 1986 660.2/Mi73
- 128 宮城県の伝統的漁具漁法 2 中部地区** 宮城県水産試験場 1989 665.5/Mi73/2
- 129 宮城県の伝統的漁具漁法 3 北部地区** 宮城県水産試験場 1990 665.5/Mi73/3
- 130 宮城県の伝統的漁具漁法 4 南三陸の和船(カッコ)** 宮城県水産試験場 1991 665.5/Mi73/4
- 131 宮城県の伝統的漁具漁法 5 内水面** 宮城県水産試験場 1992 665.5/Mi73/5
- 132 宮城県の伝統的漁具漁法 6 養殖編(のり)** 宮城県水産研究開発センター 1993 665.5/Mi73/6
- 133 宮城県の伝統的漁具漁法 7 養殖編(かき)** 宮城県 1994 665.5/Mi73/7
- 134 宮城県の伝統的漁具漁法 8 養殖編(わかめ・こんぶ)** 宮城県 1995 665.5/Mi73/8
- 135 森は海の恋人** 畠山重篤 北斗出版 1994 660.4/H41
- 136 古今無二路：宮城県水産高等学校創立百周年記念誌** 創立百周年記念誌編集委員会編 宮城県水産高等学校 1997 376/So55
- 137 塩釜すし哲物語**：日本一のマグロを握る 上野敏彦 筑摩書房 1999 596/U45
- 138 こちら石巻さかな記者奮闘記** 高成田享著 時事通信出版局 2009 661.9/Ta46

5 福島県

- 139 福島県石城郡水産誌** 福島県石城郡役所 1917 173/H87/1

※ 番号 は1階ロビー、番号 は2階閲覧室に展示しました。

福島県石城郡の水産業の概要、漁撈一班、漁夫雇用関係、水産製造、養殖、漁村(四倉町、江名村、小名濱町、豊間村、鮫川村、窪田村、錦村)の現状、水産関係規程、水産統計等が記載されている。

140 **江名水産誌** 江名濱漁業組合編 江名濱漁業組合 1925 660.2/E56

141 **江名漁港修築記念写真帳** 江名濱漁業組合 1928 004/H11/A637

昭和2年に福島県江名漁港の修築が完了した時の記念写真集。

142 **施設要覧** 福島県石城郡小名濱町漁業組合 福島県石城郡小名濱町漁業組合 1930 004/H11/A872

143 **江名濱漁業組合同規約** 江名濱漁業組合 [1932] 004/H11/F4

144 **福島県水産大観** 荒川禎三編 いわき民報社 1960 660.2/I93

145 **江名漁業史** 江名町漁業共同組合[編] 江名町漁業協同組合 1962 660.2/E56

明治以前、漁船にまだ動力がなく魚網にも藁縄を用いた時代を黎明期、大正から終戦までの、船体が動力化し、江名漁港が築港された時代を創業期、終戦後の、制度の民主化、漁場の拡大などの時代を発展期として3期に分けて江名の漁業史を記述している。

146 **福島県近海かつお・まぐろ漁業経営振興対策基本調査報告書** 福島県農政部水産課 1971 661.7/F84

147 **福島県水産累年統計** : 昭和30年～平成2年 東北農政局福島統計情報事務所編 東北農政局福島統計情報事務所 1991 660.5/F84

148 **福島の海産動物方言集** : 魚の呼び名 (福水試調査研究資料 no. 243) 福島県水産試験場編福島県水産試験場 1995 664.6/F84

149 **福島県浜通りの海事習俗** : 福島県立博物館調査報告第五集 : 浜通り地方海事習俗調査 (日本の漁村・漁撈習俗調査報告書集成 1 北海道東北地方の漁村・漁撈習俗 1) 福島県教育委員会編 東洋書林 2004 661/N77/1

昭和58年の福島県浜通り地方(相馬市、原町市、いわき市、相馬郡、双葉郡)の学術調査。浜通り地方は関東と東北を結ぶ人と物資の交通路として早くから開け、特色ある文化を形作ってきた。漁撈習俗を中心に、船に関する技術や伝承、陸上・海上の交通の実態、海に面した地域での人々の暮らしなど、海事習俗も調査された。

6 東日本大震災復興に関する資料

150 **大震災のなかで** : 私たちは何をすべきか 内橋克人編 岩波書店 2011 369.3/U15

151 **これからどうなる海と大地** : 海の放射能に立ち向かう 水口憲哉著 七つ森書館 2011 666.6/Mi94

152 **日本の魚は大丈夫か** : 漁業は三陸から生まれ変わる 勝川俊雄著 NHK出版 2011 661.1/Ka87

153 **海は誰のものか** : 東日本大震災と水産業の新生プラン 小松正之著 マガジンランド 2011 661.1/Ko61

154 **東日本大震災とこれからの水産業** 白須敏朗著 成山堂書店 2012 661/Sh85

155 **ホットスポット** : ネットワークでつくる放射能汚染地図 NHK ETV 特集取材班著 講談社 2012 543.5/N77

156 **日本の水産業は復活できる!** : 水産資源争奪戦をどう闘うか 片野歩著 日本経済新聞出版社 2012

※ **番号**は1階ロビー、**番号**は2階閲覧室に展示しました。

660. 2/Ka82

四方を海に囲まれ豊富な資源と絶好の漁場を持ちながら、なぜわが国の水産業は衰退の一途を辿っているのか。水産業を再び活気ある産業に転換するために必要なポイントと戦略を示した、関係者必読の一冊。(本書帯より)

- 157 **東日本大震災復興支援地図** : 青森・岩手・宮城・福島・茨城・千葉太平洋沿岸地域 昭文社 2011 291. 2/H55
- 158 **巨大津波が襲った** : 3.11 大震災 : 発生から 10 日間の記録 : 緊急出版特別報道写真集 河北新報社 2011 369. 3/Ka19
- 159 **海国日本の復興へ!** : 国民生活の安定・安心に向けた提言 全日本海員組合 2011 683/Z3
- 160 **大震災のなかで** : 私たちは何をすべきか 内橋克人編 岩波書店 2011 369. 3/U15
- 161 **河北新報特別縮刷版** : 3・11 東日本大震災 1 カ月の記録 : 2011・3・11-4・11 紙面集成 河北新報社編 竹書房 2011 369. 3/Ka19
- 162 **東日本大震災自衛隊救援活動日誌** : 東北地方太平洋沖地震の現場から 須藤彰著 扶桑社 2011 369. 3/Su14
- 163 **緊急提言集「東日本大震災・今後の日本社会の向かうべき道」** : 全労済協会勤労者福祉研究 全国勤労者福祉・共済振興協会 2011 369. 3/Z3
- 164 **日本人は知らない「地震予知」の正体** ロバート・ゲラー著 双葉社 2011 453. 3/G33
- 165 **「災害・復興と男女共同参画」6.11 シンポジウム** : 災害・復興に男女共同参画の視点を 大沢真理ほか編 2011 304/I85/46
- 166 **海に沈んだ故郷** : 北上川河口を襲った巨大津波-避難者の心・科学者の目 堀込光子ほか著 連合出版 2011 452. 5/H89
- 167 **震災と情報** : あのとき何が伝わったか 徳田雄洋著 岩波書店 2011 369. 3/To35
- 168 **東日本大震災** : 直後 3 か月間のまとめ 清原隆徳編 2011 369. 3/Ki85
- 169 **ふるさと石巻の記憶** : 大津波襲来・東日本大震災 : 空撮 3.11 その前・その後 三陸河北新報社 2011 369. 3/Sa66
- 170 **甦れ!気仙沼港** : 日本一の漁港を験の奥に 吉川順一写真 アートダイジェスト 2011 661. 9/Ki22
- 171 **農業・漁業をどう立て直すか** : 大震災・原発事故からの復旧の実態、復興の課題 梶井功編集 農林統計協会 2012 P610/67/58
- 172 **福島原発事故・記者会見** : 検証 : 東電・政府は何を隠したのか 日隅一雄ほか著 2012 543. 5/H79
- 173 **3.11 複合被災** 外岡秀俊著 岩波書店 2012 369. 3/So76
- 174 **被災都市の水産業復興段階にあわせたライフラインとロジスティクスの計画方法** 東京海洋大学 2012 661/To46
- 175 **東日本大震災の記録** : 破壊・絆・甦生 陽捷行ほか編著 北里大学学長室 2012 369. 3/Mi37
- 176 **明かされなかった福島原発事故の真実** 朝日新聞特別報道部著 学研パブリッシング 2012 543. 5/A82/1
- 177 **検証!福島原発事故の真実** 朝日新聞特別報道部著 学研パブリッシング 2012 543. 5/A82/2

※ 番号 は 1 階ロビー、番号 は 2 階閲覧室に展示しました。

- 178 東日本大震災現地レポート : 地域建設企業は大震災にどう対応したか 東日本建設業保証 2012
369. 3/H55
- 179 東日本大震災における産学官による被災地支援/復興の取り組み 中村宏・伊東裕子編集 東京海洋大
学水産海洋プラットフォーム事業部 2012 660. 2/To46/4
- 180 茨城大学復興支援プロジェクト調査研究報告書 茨城大学大震災・放射能汚染復興支援運営委員会
2012 369. 3/I11/2011
- 181 業漁業・水産業における東日本大震災被害と復興に関する収集情報リスト : 中間まとめ 震災情報研
究会編著 東京水産振興会 2012 660. 2/Sh69/R
- 182 あの日から明日に向かって : 東日本大震災 : 山田の記録 伝津館・山田町大震災記念誌編集委員会
2013 369. 3/D59

※ 「東日本大震災復興に関する資料」は、目録番号 181 を参照し作成しました。

その他展示物

- 183 東京水産大学第十回生卒業記念アルバムより 1962
東京水産大学の学生が練習船“神鷹丸”の乗船実習で女川、大船渡に行った時の写真。
- 184 プロメテウスの罫、海鷹丸が来た 朝日新聞 朝刊 2013. 2. 13～3. 5
朝日新聞朝刊の連載記事である「プロメテウスの罫」にて、東京海洋大学練習船「海鷹丸」と教授陣・
学生の活躍が『海鷹丸が来た』と題して紹介された。福島原発事故直後、海や魚の放射能汚染がど
のような規模なのか全くわからず、地元漁師は困惑していた。そんな中で、共同調査に乗り出した東京
海洋大学と福島県水産試験場との奮闘を描く。

図書館常設展示 第9回 よみがえる東北の水産業―震災から二年の時を経て―
発行日 2013年3月11日 編集・発行 東京海洋大学附属図書館 〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7
TEL 03-5463-0444 FAX 03-5463-0445 <http://lib.s.kaiyodai.ac.jp> ©東京海洋大学附属図書館

※ 番号は1階ロビー、番号は2階閲覧室に展示しました。